

2023 年度

東京藝術大学大学院美術研究科 修士課程

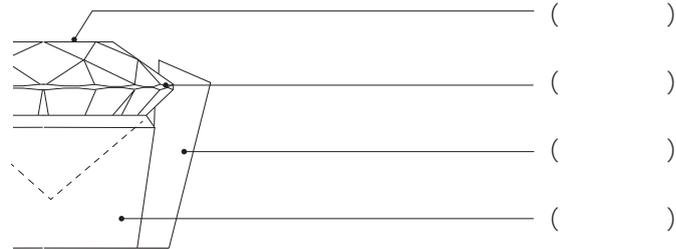
入学者選抜試験 [彫金・筆答問題]

試験日時：2023 年 2 月 14 日 (火) 10:00～11:30

問 1 下記の文章において、合っているものには「○」、間違っているものには「×」を()内に記入しなさい。

- (1) ホワイトゴールドの刻印表記は「Pt」である。()
- (2) 朱文の刻印は打刻した際に、文字が凹む刻印である。()
- (3) 宝石のカットの一つであるカボション・カットは、ドーム状に研磨したものである。()
- (4) 主に鉱物に対する硬さの尺度をモース硬度という。()
- (5) 貴金属の中で、展延性に最も優れているのは銀である。()
- (6) 純金の別の呼び方は「サラ」である。()
- (7) 断面が楕円形のリングを別称で甲丸リングと呼ぶ。()
- (8) 通常 0.1ct 以下の小粒石をメレという。()
- (9) エンゲージリングとは、婚約指輪のことである。()
- (10) 一個石のリングをソリテールリングと呼ぶ。()

問 2 下図の空欄に各部位の名称を語群から選び記号を()に記入しなさい。



【語群】

- a. テーブル b. 爪 c. ガードル d. 肩 e. 覆輪 f. パビリオン g. 石座 h. 腰

問 3 次のカットの名称を語群から選び記号を()に記入しなさい。



()



()



()



()

【語群】

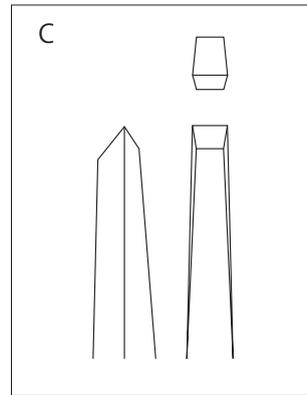
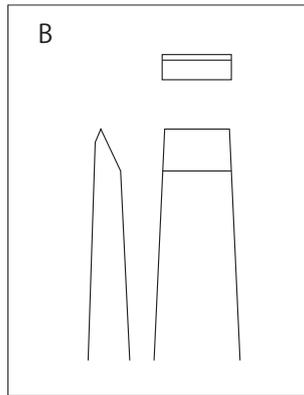
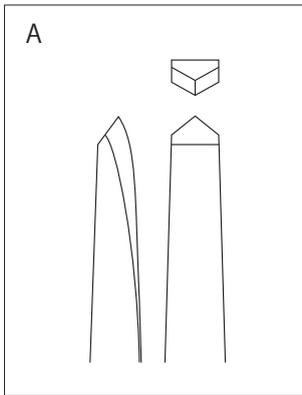
- a. プリンセス・カット b. バゲット・カット c. マーキース・カット d. スクエア・カット
 e. エメラルド・カット f. オーバル・カット g. ペアシェイプ・カット h. ラウンド・カット

問4 以下の問に答えなさい。

・次の文は、彫金の技法についての記述である。適切と思われる技法名を（ ）に記入しなさい。

- (1) 彫り下げた凹みに他の金属をはめ、平滑な面に研ぎ上げる技法。 ()
- (2) 細い幅で彫った溝に他の金属線をはめ、文様を表す技法。 ()
- (3) 金属板を糸鋸や鑿で模様を切り抜く技法。 ()
- (4) 焼鈍した金属板に木鑿や鑿を用いて、肉付けしていく技法。 ()

・(2)の技法で使用する鑿を [A・B・C] の中から選びなさい。



()

・「A・B・C」の鑿の名前をそれぞれ答えなさい。

A ()

B ()

C ()

問5 次の語句を簡単に説明しなさい。

・ 鑑付け

・ 並四分一

問6 以下の文章で正しいものには「○」、間違っているものには「×」を（ ）内に記入しなさい。

- (1) ボール盤やベルトサンダー等の回転機械工具は安全のため必ず軍手を着用する。 ()
- (2) 強アルカリ性の水酸化ナトリウム(苛性ソーダ)は取り扱いに注意が必要である。 ()
- (3) 硝酸を用いて金属板を腐食させる際には防塵マスクを使用する。 ()
- (4) エチルアルコールとメチルアルコールは同一成分のため、使用の注意点に違いはない。()

問7 以下の文章内の下線の語句が、正しいものには「○」間違っているものは正しく直しなさい。

- ・ 925のシルバーを製作するために307.1gの銀に34.5gの銅を用意した。 ()
- ・ 真鍮は銅と亜鉛の合金である。 ()

問8 3gのK18を吹く場合、割金は何g必要か答えなさい。

()

問9 240gの950銀を970銀にする際、何gの銀が必要か答えなさい。

()

問10 以下の文章が表すものを語群から選び（ ）に記入しなさい。

- ・ 金属元素記号がHg ()
- ・ 融点が1768°の金属 ()
- ・ 5gの純金に銅0.5g、銀0.5gを混ぜた合金 ()

【語群】

水銀	真鍮	錫	純金	K20	K10	亜鉛	水素
純プラチナ	鉄	純銀	970	925	銅	パラジウム	

問11 以下の枠内の金属元素記号を比重の重い順に並べなさい。

() → () → () → () → () → () → ()

Zn	Ag	Al	Cu	Pt	Au	Fe
----	----	----	----	----	----	----

問 12 以下の画像と関連のある語句を下の語群から選び、その記号を () 内に記入しなさい。

伊藤若冲

()

並河靖之

()

鍔(つば)

()

自在置物

()

正阿弥勝義

()

カメオ

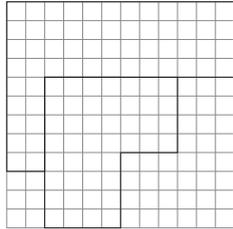
()

語群

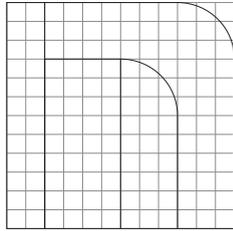
- a. 海野勝珉 b. 濤川惣助 c. 帖佐 美行 d. カメオ e. 自在置物
 f. 笄(こうがい) g. アイボリー h. 簪(かんざし) i. 伊藤若冲 j. インタリオ
 k. 並河靖之 l. 葛飾北斎 m. 正阿弥勝義 n. 鍔(つば) o. 尾形光琳

問 13 以下の三面図を元に見取り図を描きなさい。

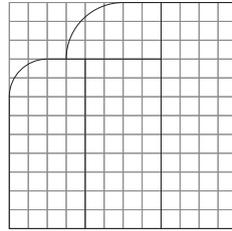
各辺の寸法は三面図の長さに合わせなさい。(三面図は第三角法) 配布された定規を使用して描くこと。



平面図



正面図



右側面図

見取り図

